



具体目標 「生涯を通じて自ら進んで学習できる子」「国際社会の中で活躍できる子」「運動に親しみ心身ともに健康な子」
めざす子ども像 (進んで学ぶ子ども) (心豊かな子ども) (たくましい子ども)

□大人になる瞬間

いよいよ今日から3月です。先週の朝会で子どもたちに「大人になってどういうことだと思いますか。」と聞いてみました。保護者の皆さんも経験したと思いますが「今この瞬間から大人になる」という明確な時や場はなかなかないと思います。私は、追い詰められた時、明確に今までの自分の考え方と違った方向にベクトルが向き、しかもその思考がプラスに向き始めていると感じた瞬間を「今までの自分との訣別・大人になる瞬間」と捉えてきました。残念ながら、なかなかそんな瞬間は来なかったように思いますが。



しかし唯一今までの自分と違うと感じられる明確な「時と場」があります。卒業式や入学式です。「今までの自分の立ち位置と全く違う場所へ進んでいくんだ」と非常に実感しやすい「時と場」です。

3月13日に本校では4名の卒業生を送り出します。4名の大人になる瞬間を私たちは温かく、そして期待を込めて見守っていきたいと思います。

さて、学校だよりも今年度最後となりました。1年間、学校を支え応援してくださった保護者の皆様に、心より感謝し、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

来年度も私たち教職員は、こどもたちの成長のために力を尽くして参ります。よろしくお願ひいたします。

□3月の主な予定

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
3/1	金	6校時卒業式練習(卒業生)	3/7	木	卒業式練習	3/13	水	卒業式・修了式・離任式 感謝会
3/4	月	集会・個人懇談会・5校時下校	3/11	月	卒業式予行練習			
3/5	火	卒業式練習・個人懇談会・5校時下校	3/12	火	学年末大掃除	3/14	木	年末休業～

□4月の主な予定(まだ確定ではありません 参考までに掲載します)

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
4/1	月	学年始め休業～15日まで	4/19	金	所在地確認	4/24	水	1年生を迎える会 避難訓練(6校時)
4/16	火	着任式・始業式・入学式	4/20	土	協会総会・PTA総会			
4/17	水	小1午前授業・身体測定	4/22	月	集会・ユートピア校との交流	4/25	木	NRT学力検査
4/18	木	小1午前授業・身体測定 委員会①	4/23	火	子どもの日で休業	4/26	金	1,2年生春見つけ(予定) (エミルギャン公園)

□3月をもって帰任される先生からのご挨拶

寂しい季節になりました。ずっと一緒にいられると思った友達や先生ともお別れの時期が近づいています。今年は帰任される先生は5名です。先生たちからご挨拶をいただきました。5人の先生、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



【伊藤慶先生】

私が赴任した1年目はコロナ禍で、全員が我慢する生活を強いられる中、クラスの男子6人から元気をもらい楽しく過ごすことができました。2年目は、中学3年生の生徒達が自身の高校進学を見据えながらも、学校のリーダーとして活躍している姿が印象的でした。3年目は、保護者の方にとってもお世話になりました。教員としても保護者としてもとても学びが多かった1年間でした。3年間ありがとうございました。

【柏原亮輔先生】

この3年間、良き出会いに溢れていました。児童生徒との出会い、保護者との出会い、職員との出会い、トルコ人スタッフとの出会い、、、日本で再会した時には、トルコの思い出話で盛り上がりたいです。すごく楽しい3年間でした。ありがとうございました。

【本間和寛先生】

イスタンブール日本人学校の子どもたちの元気な姿が大好きでした。温かく接してくれた保護者のみなさん、大変ありがとうございました。みなさんからもらった元気と温かさをもって、新潟県でもがんばります！

【國忠浩文先生】

自分が滞在するとは思ってもいなかったトルコで3年が経とうとしています。

赴任前、「トルコはイスラム教徒がほとんどらしい→ひょっとして過激派や武装集団がいる？→テロ組織あり？」というネガティブなイメージも、正直少し抱かなくもなかったのですが、でもそれがとても偏ったものであるというのはトルコにきてわかったことです。

日本以外の国に住む経験を持つIJSの子どもたちだからこそ見えることがあるはずで、将来、日本とトルコ、あるいはさらに別の国々との架け橋として活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様方には3年間ご協力をいただき、大変ありがとうございました。

【向井康之先生】

3年前、パンデミックの中、イスタンブールに到着。職員会議もオンラインでした。子供たちと会えたのもオンラインから。それでもパソコンの画面に映る子供たちの笑顔に元気がでたものです。異国の地、異文化の中、それもオンライン。今思えばよくできたものだと感心してしまいます。毎日が精一杯でした。あれから、素敵な子供たちや保護者の方々に恵まれ、何とかここまで過ごすことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。「笑顔が一番」を学級の目標とし、相手の気持ちや立場も考えて、一緒に心の底から笑顔になれるような学級づくりに努めてきました。子供たちの笑顔はやっぱり最高です。これからも立派な国際人として、はばたいてください。今までありがとうございました。



本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。お体に気をつけて日本でもご活躍ください。